



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月30日

上場会社名 フタバ産業株式会社

上場取引所

東・名

コード番号 7241

URL <https://www.futabasangyo.com>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久恒 季之

問合せ先責任者(役職名) 経理部長

(氏名) 小林 佳弘

(TEL) 0564-31-2211

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	175,614	7.1	3,649	△12.9	4,102	3.4	2,474	△5.4
2026年3月期第1四半期	163,920	△12.1	4,191	16.0	3,969	△0.6	2,614	10.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,661百万円(40.9%) 2026年3月期第1四半期 1,888百万円(△61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	27.71	27.71
2026年3月期第1四半期	29.22	29.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	335,596	146,458	41.5
2026年3月期	334,332	145,851	41.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 139,245百万円 2026年3月期 138,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	22.00	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	690,000	1.8	19,000	1.5	19,000	△8.8	14,000	△12.6	156.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) FUTABA MANUFACTURING MAHARASHTRA PRIVATE LIMITED、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	89,580,827株	2026年3月期	89,580,827株
2027年3月期1Q	277,956株	2026年3月期	277,783株
2027年3月期1Q	89,302,968株	2026年3月期1Q	89,489,614株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループにおいては、企業価値の向上を目指すに当たり、営業利益率、ROE(自己資本当期純利益率)を重要な経営指標と位置づけ、その向上に取り組んでおります。その一環として、2025～2027年度までを計画期間とする中期経営計画の目標として、2027年度営業利益率(対支給品を除く売上高)5.0%及びROE10.0%以上を設定しております。2025年度から2027年度の中期経営計画は、成長投資の期間と位置付け、2030年におけるグローバルでの安定的成長を見据えた活動を進めてまいります。中長期的な重要課題として、以下の取り組みを推進していきます。

- ①成長戦略
 - ・ボデー系部品事業：売上拡大に向けた開発・能力向上
 - ・排気系部品事業：電動化ニーズに合わせた新たなシステム開発
 - ・新規事業：開発を加速し早期事業化
 - ・インド事業：成長市場での拠点拡大と事業基盤強化
- ②稼ぐ力
 - ・営業利益率(対支給品を除く売上高)5.0%を目指した活動強化
- ③人材
 - ・全員活躍、社員の働きがい向上
 - ・健康経営
- ④カーボンニュートラル
 - ・グローバル：工場のCO2排出量 2030年度(2019年度比) △50%以上削減
 - ・日本：2030年カーボンニュートラル達成にチャレンジ
- ⑤財務資本戦略
 - ・PBR向上にむけた資本コストや株価を意識した経営

これらをもとに、グローバルで経営・収益基盤をさらに充実させるとともに、デジタル化とものづくりのイノベーションにリソースを投入し、強固で持続可能なグローバル企業を目指し、努力してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、支給品単価の上昇や為替影響等により1,756億円(前年同期比7.1%増)となりました。利益につきましては、支給品や為替影響等を除く実質売上高が減少したこと等により、営業利益は36億円(前年同期比12.9%減)となりました。経常利益は41億円(前年同期比3.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億円(前年同期比5.4%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

得意先の自動車生産台数の増加等により、売上高は804億円(前年同期比3.7%増)となりました。セグメント利益は15億円(前年同期比1.9%増)となりました。

②北米

為替の影響等により、売上高は495億円(前年同期比9.8%増)となりました。実質的な減収を受け、セグメント利益は12億円(前年同期比4.0%減)となりました。

③欧州

為替の影響等により、売上高は182億円(前年同期比17.4%増)となりました。実質的な減収を受け、セグメント利益は3億円(前年同期比37.6%減)となりました。

④中国

得意先の自動車生産台数の減少等により、売上高は103億円(前年同期比34.0%減)となりました。セグメント損失は0億円(前年同期は4億円のセグメント利益)となりました。

⑤アジア

売上高は204億円(前年同期比66.7%増)となりました。セグメント利益は4億円(前年同期比69.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べて12億円増加し、3,355億円となりました。負債については、未払費用の増加等により、前連結会計年度末に比べて6億円増加し、1,891億円となりました。純資産については、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて6億円増加し、1,464億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期の実績及び足元の状況を踏まえ、2026年4月27日に公表した通期連結業績予想を見直し、売上高を6,900億円に修正しております。営業利益190億円、経常利益190億円、親会社株主に帰属する当期純利益140億円については、前回予想から変更ありません。なお、セグメント別の売上高及びセグメント利益については、本決算短信に添付の決算参考資料をご参照ください。

7月28日に熊本県熊本地方で発生した地震による業績への影響については、現時点では調査・確認中であり、合理的な見積りが困難なため、今回の業績予想には反映していません。今後、業績への影響を合理的に見積ることが可能となった時点で、必要に応じて業績予想を見直し、速やかにお知らせいたします。

2027年3月期 通期連結業績予想の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	669,000	19,000	19,000	14,000	156円65銭
今回修正予想(B)	690,000	19,000	19,000	14,000	156円65銭
増減額 (B-A)	21,000	0	0	0	
増減率(%)	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	677,919	18,715	20,840	16,026	179円33銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,384	24,547
電子記録債権	4,290	4,038
売掛金	83,996	83,336
製品	5,480	5,786
仕掛品	15,663	18,132
原材料及び貯蔵品	8,001	7,910
その他	14,480	12,737
流動資産合計	153,298	156,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,424	36,137
機械装置及び運搬具（純額）	53,719	51,609
工具、器具及び備品（純額）	13,971	12,584
土地	15,119	15,154
リース資産（純額）	3,194	3,234
建設仮勘定	17,618	19,434
有形固定資産合計	139,048	138,156
無形固定資産	1,947	1,902
投資その他の資産		
投資有価証券	24,195	23,198
長期貸付金	33	32
退職給付に係る資産	14,370	14,435
繰延税金資産	1,107	1,064
その他	337	321
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	40,039	39,047
固定資産合計	181,034	179,106
資産合計	334,332	335,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	2,056	2,032
買掛金	79,552	80,276
短期借入金	9,603	8,069
1年内返済予定の長期借入金	12,096	11,223
未払法人税等	2,482	2,664
未払消費税等	1,737	1,645
役員賞与引当金	56	8
未払費用	15,942	17,952
その他	14,723	15,287
流動負債合計	138,249	139,160
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	25,952	25,871
繰延税金負債	9,910	9,580
製品保証引当金	284	284
環境対策引当金	153	153
解体撤去引当金	503	503
退職給付に係る負債	4,576	4,664
その他	2,850	2,919
固定負債合計	50,231	49,977
負債合計	188,481	189,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,820	16,820
資本剰余金	9,219	9,219
利益剰余金	74,241	74,662
自己株式	△251	△251
株主資本合計	100,030	100,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,362	11,599
為替換算調整勘定	18,825	19,705
退職給付に係る調整累計額	7,666	7,489
その他の包括利益累計額合計	38,854	38,794
非支配株主持分	6,966	7,213
純資産合計	145,851	146,458
負債純資産合計	334,332	335,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	163,920	175,614
売上原価	152,149	164,199
売上総利益	11,771	11,415
販売費及び一般管理費	7,579	7,765
営業利益	4,191	3,649
営業外収益		
受取利息	94	115
受取配当金	279	313
作業くず売却益	50	88
持分法による投資利益	98	54
為替差益	-	179
雑収入	117	201
営業外収益合計	641	953
営業外費用		
支払利息	203	250
固定資産廃棄損	50	230
為替差損	571	-
雑損失	38	19
営業外費用合計	863	499
経常利益	3,969	4,102
税金等調整前四半期純利益	3,969	4,102
法人税等	1,242	1,515
四半期純利益	2,726	2,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	111	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,614	2,474

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,726	2,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△429	△763
為替換算調整勘定	△168	959
退職給付に係る調整額	△169	△177
持分法適用会社に対する持分相当額	△70	54
その他の包括利益合計	△838	73
四半期包括利益	1,888	2,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,799	2,414
非支配株主に係る四半期包括利益	89	246

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当第1四半期連結累計期間において、「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)第7項の定めを適用しているため、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	75,249	45,165	15,538	15,688	12,279	163,920	—	163,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,348	4	1	1	1	2,356	△2,356	—
計	77,597	45,169	15,539	15,689	12,280	166,277	△2,356	163,920
セグメント利益	1,513	1,348	602	453	288	4,207	△15	4,191

(注) 1 セグメント利益の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	77,046	49,517	18,239	10,345	20,465	175,614	—	175,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,449	68	0	11	1	3,531	△3,531	—
計	80,495	49,585	18,240	10,357	20,467	179,145	△3,531	175,614
セグメント利益又は損失(△)	1,542	1,294	376	△39	490	3,663	△14	3,649

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	5,346百万円	6,416百万円

2027年3月期 第1四半期 決算参考資料

2026年7月30日
フタバ産業株式会社

1. 連結業績

(単位：百万円)

	当期 (2026. 4～2026. 6)		前期 (2025. 4～2025. 6)		増減	増減率
		比率		比率		
売上高 (支給品込み)	175, 614		163, 920		11, 693	7. 1%
(支給品除く)	111, 399	(100. 0%)	109, 377	(100. 0%)	2, 021	1. 8%
営業利益	3, 649	(3. 3%)	4, 191	(3. 8%)	△ 542	△12. 9%
経常利益	4, 102	(3. 7%)	3, 969	(3. 6%)	133	3. 4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2, 474	(2. 2%)	2, 614	(2. 4%)	△ 140	△5. 4%
1株当たり四半期純利益	27円71銭		29円22銭			
設備投資(検収ベース)	4, 953		6, 323		△ 1, 370	△21. 7%
減価償却費	6, 416		5, 346		1, 070	20. 0%
為替レート(1USドル)	159. 5円		144. 6円			

通期予想 (2026. 4～2027. 3)		前期比 増減	増減率
	比率		
690, 000		12, 080	1. 8%
446, 000	(100. 0%)	△ 157	△0. 0%
19, 000	(4. 3%)	284	1. 5%
19, 000	(4. 3%)	△ 1, 840	△8. 8%
14, 000	(3. 1%)	△ 2, 026	△12. 6%
156円65銭			
37, 000		8, 686	30. 7%
27, 000		3, 343	14. 1%
155円			

(注1) ()内は支給品除く売上高比率を表示

※売上高 前期比増減について補足説明

■ 売上高(支給品除く) // 支給品金額 単位：億円



・支給品とは
得意先から有償支給される触媒等の部品。
支給品を含む製品の売価には、支給品額が
含まれており、利益影響はない。

・材料建値変動とは
市況の変動により、材料の仕入れ単価と
売価のうち、材料費分が同額変動すること。
売上と原価が同額変動するので、
利益影響はない。

2. 営業利益増減要因(対前期比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
価格転嫁	13	減価償却費の増	△ 10
合理化改善	6	売価変動	△ 6
		部品事業売上減による利益の減	△ 4
		材料費・労務費・経費の増	△ 3
		部品事業以外の利益の減	△ 1
計	19	計	△ 24
差引	営業利益の減		△ 5

3. セグメント別業績

(単位：百万円)

		当期 (2026. 4～2026. 6)		前期 (2025. 4～2025. 6)		増減	増減率
			利益率		利益率		
日本	売上高 (支給品除く)	53, 860		50, 484		3, 375	6. 7%
	営業利益	1, 542	2. 9%	1, 513	3. 0%	29	1. 9%
北米	売上高 (支給品除く)	37, 515		34, 712		2, 802	8. 1%
	営業利益	1, 294	3. 5%	1, 348	3. 9%	△ 54	△4. 0%
欧州	売上高 (支給品除く)	10, 528		9, 655		873	9. 0%
	営業利益	376	3. 6%	602	6. 2%	△ 226	△37. 6%
中国	売上高 (支給品除く)	8, 338		12, 406		△ 4, 068	△32. 8%
	営業利益	△ 39	△0. 5%	453	3. 7%	△ 493	-
アジア	売上高 (支給品除く)	4, 688		4, 474		213	4. 8%
	営業利益	490	10. 5%	288	6. 5%	201	69. 7%
消去	売上高	△ 3, 531		△ 2, 356		△ 1, 175	
	営業利益	△ 14		△ 15		1	
合計	売上高 (支給品除く)	111, 399		109, 377		2, 021	1. 8%
	営業利益	3, 649	3. 3%	4, 191	3. 8%	△ 542	△12. 9%

通期予想 (2026. 4～2027. 3)		前期比 増減	増減率
	利益率		
* 224, 000		12, 069	5. 7%
* 9, 000	4. 0%	661	7. 9%
* 144, 000		8, 174	6. 0%
* 6, 200	4. 3%	2, 424	64. 2%
* 40, 000		△ 2, 686	△6. 3%
* 1, 600	4. 0%	△ 580	△26. 6%
* 34, 000		△ 15, 565	△31. 4%
* 600	1. 8%	△ 2, 427	△80. 2%
20, 000		2, 167	12. 2%
* 1, 600	8. 0%	332	26. 2%
△ 16, 000		△ 4, 317	
0		△ 124	
* 446, 000		△ 157	△0. 0%
19, 000	4. 3%	284	1. 5%

(注) *は前回公表値からの修正有を示す

2027年3月期 第1四半期 決算参考資料

4. 得意先別売上高

支給品込み						
	当期 (2026.4～2026.6)		前期 (2025.4～2025.6)		増減	増減率
トヨタグループ	1,358	77.4%	1,355	82.7%	2	0.2%
スズキ	200	11.4%	128	7.9%	71	55.3%
三菱自動車	71	4.1%	42	2.6%	28	66.9%
日産グループ	28	1.6%	24	1.5%	3	14.2%
本田技研	16	0.9%	17	1.1%	△0	△4.8%
その他	80	4.6%	69	4.2%	11	16.6%
合計	1,756	100.0%	1,639	100.0%	116	7.1%

支給品除く				(単位： 億円)	
当期 (2026.4～2026.6)		前期 (2025.4～2025.6)		増減	増減率
943	84.7%	943	86.3%	0	0.0%
53	4.8%	50	4.7%	2	5.6%
30	2.7%	23	2.2%	6	28.8%
21	2.0%	18	1.7%	3	20.0%
14	1.3%	14	1.3%	△0	△0.5%
49	4.5%	43	3.8%	6	15.4%
1,113	100.0%	1,093	100.0%	20	1.8%

5. 製品別売上構成比率

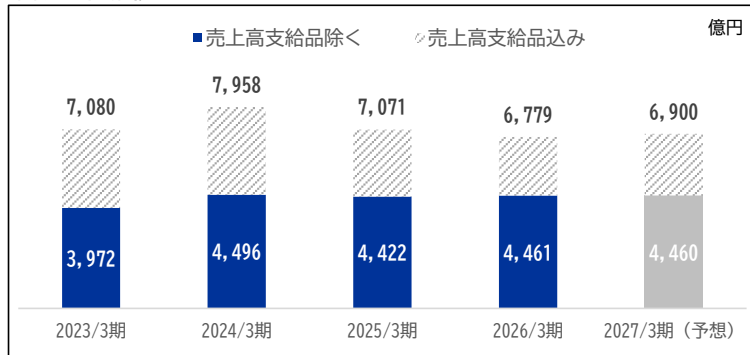
	売上高 (支給品込み)	売上高 (支給品除く)	差
排気系/燃料系	48.7%	28.8%	△19.9pt
ボデー/内装部品	42.5%	58.8%	+16.3pt
足回り部品	5.0%	6.7%	+1.7pt
その他	3.7%	5.7%	+2.0pt
合計	100.0%	100.0%	0.0pt

支給品込み売上高と支給品除く売上高の
製品別売上構成比率を比較すると

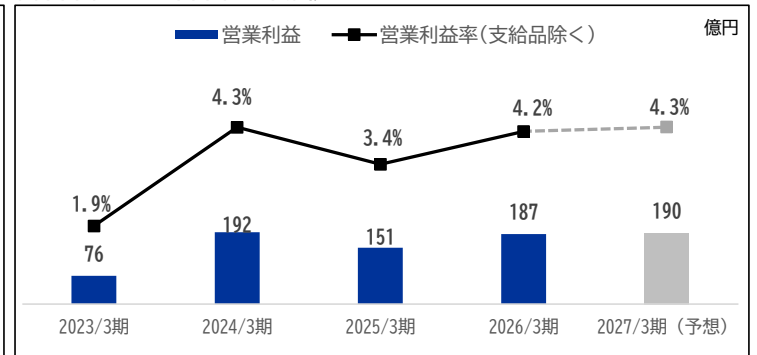
排気系/燃料系部品 48.7% → 28.8% (△19.9pt)
ボデー/内装部品 42.5% → 58.8% (+16.3pt)

6. 業績推移

(1) 売上高推移

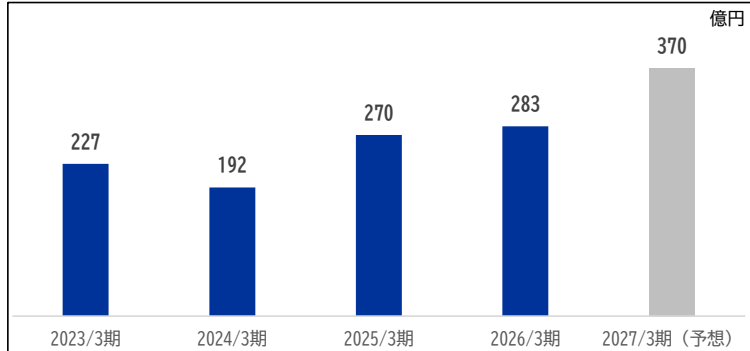


(2) 営業利益及び営業利益率推移

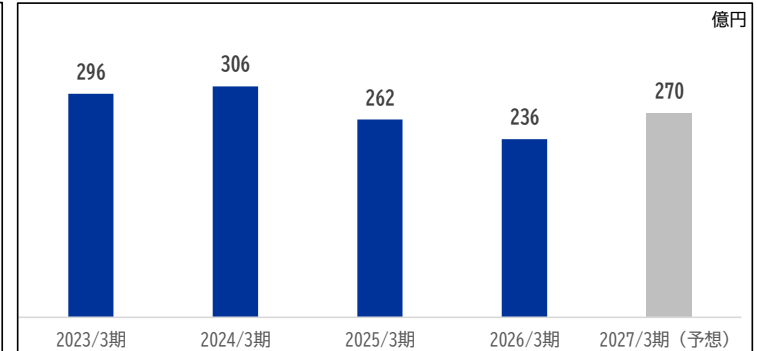


7. 財務指標推移

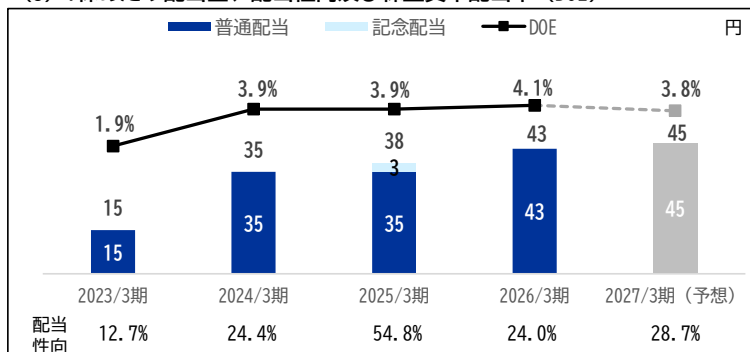
(1) 設備投資推移



(2) 減価償却費推移



(3) 1株あたり配当金、配当性向及び株主資本配当率(DOE)



(4) 親会社株主に帰属する当期純利益及び自己資本当期純利益率(ROE)

